

平成26年度入学式



4月9日、新入生160名を迎え、本校入学式を挙りました。

西岡大校長は、式辞で日々の授業を大切に、「自ら学ぶ」態度を養う、挨拶や遅刻防止など「当たり前のことを当たり前にする」ことを説いた上で、新入生に次の句をおくりました。

「春風や闘志いだきて丘に立つ」（高浜虚子）

対面式／クラブ紹介

4月10日、午前に対面式が行われ、クラス別に整列し、「上級生の皆さんよろしくお願ひします。」と挨拶しました。午後にクラブ紹介が行われました。体育系・文化系クラブのキャプテン等から、新入生へのクラブ紹介がありました。「全国大会を目指しましょう」「初心者でもいいですから、一度見学に来て入部を考えてみて下さい」等の呼びかけがありました。



26年度各教科から生徒への約束手形

本校では毎年生徒による授業評価をもとに、生徒に対しての約束手形（授業の進め方など各教科から生徒への約束事）を出しています。

《国語》

- ・漢字テストを週1回実施します。
- ・漢字検定合格をめざす生徒が増えるよう呼びかけます。
- ・定期的にノート提出を求め、予習・復習ができているか確認します。

《社会》

- ・毎時限、資料集を活用した授業を展開します。
- ・調べ学習を積極的に行います。

《数学》

- ・1年・2年 普通科→週1回の問題演習ノートの提出
商業科→年6回程度の問題演習ノートの提出
- ・夏季休業中に全学年対象に進学補習を行います。

《理科》

- ・自ら学習する力を養うため、意味・目的がわかる宿題を多く課します。
- ・実験については、課題などをもらうことにより授業数を増やし、なるべく多くできるよう工夫します。

《英語》

- ・英語のフットワークは単語力である。
- ・来年度も今年度同様、単語の継続学習に取り組む。
- ・具体的には、週1回のテキストと範囲を決めた単語テストの実施。

《芸術》

- ・日常生活に関連したテーマを教材にして、芸術を学習します。
- ・視聴覚教材等を活用して、様々な芸術活動を学習します。

《家庭》

- ・板書、指示、説明を丁寧にし、ノート提出で確認します。
- ・復習テストと定期テストを連動して取り入れます。
- ・地域の食材、文化などを教材に取り入れます。

《保体》

- (体育)・基礎・基本を身に付けさせ、生徒の自主的、自発的な行動を促し、興味・関心を引き出すような授業内容、授業展開を工夫する。
- ・一斉指導の中に個別指導を取り入れたり、習熟度別指導など個の能力に応じた指導をする。
- (保健)・板書の仕方や授業展開を工夫し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していけるよう指導する。

《商業》

- ・検定取得のための補習時間を延べ年間300時間以上にします。
- ・全商検定3種目以上1級合格者を学年の20%以上となるよう指導します。

退職・転出された先生方（人事異動）

林 充夫 先生	(保健・体育)	定年退職
前田 富美子 さん	(校務員)	定年退職
西平 和司 さん	(校務員)	定年退職
小竹 博允 先生	(地歴・公民)	海南高校へ
上野 真由子 先生	(英語)	有田中央高校へ
中東 正樹 先生	(数学)	新宮高校へ
廣井 美紗子 先生	(国語)	和歌山高校へ
馬場 利枝子 先生	(理科)	海南高校へ

転入された先生方

森本 文雄 先生	(地歴・公民)	伊都高校より
高瀬 和久 先生	(保健・体育)	海南高校下津分より
高木 玉美 先生	(理科)	貴志川高校より
宇田 泰子 先生	(英語)	滋賀県より
出口 綾 先生	(英語)	那賀高校より
西山 真司 さん	(校務員)	
森内 清美 さん	(校務員)	

5月の学校行事

1日(木)	校外学習(遠足)
2日(金)	大学訪問(1年生希望者)
8日(木)	新体力テスト
12日(月)	1学期中間考査発表
19日(月)～21日(水)	1学期中間考査
23日(金)	P T A総会 進路講演会